

# 女性登用等促進事業【高知県】

## 地域の実情と課題

・全国に先行して人口が自然減に転じている本県では、女性の活躍の場の拡大を進めることは、社会の活力を維持するうえで極めて重要。

・有業者の約半数が女性である一方、管理的職業従事者の女性割合は約2割にとどまっており、全国一位とはいえ、十分とはいえない状況。

- ◆有業者の女性割合〔46.7%/全国一位〕
- ◆管理的職業従事者の女性割合〔21.8%/全国一位〕 ※H24就業構造基本調査
- ◆女性の働きやすさ(働きやすいと思わない55.5%) ※H25県民世論調査

## 事業の特徴

◎経済団体等とのタイアップなど、参加者をより確保できる方法で実施

◎経営層とともに、女性が働きやすい職場づくりに向け、(男性が多くを占める)ミドル層へもアプローチ

## 事業の効果

・経済団体、大学、男女共同参画センターとタイアップしてセミナー等を実施したことにより、定員を上回る参加者があり、広く県内各層に啓発をすることができた。

## 目的・目標

・セミナー等へより多くの企業からより広く参加者を確保するとともに、経営層に加えて管理職層への意識啓発を行い、女性の継続就業及び登用の促進を図る。

・経済団体等とのタイアップによるトップセミナー、ミドルセミナー、高知家の女性活躍応援塾を開催し、参加者1,300人を目標とする。

## 連携団体

- ・(経済団体)  
高知商工会議所、高知県経営者協会、高知県女性の活躍促進連絡会
- ・(大学)  
高知学園短期大学
- ・(男女共同参画センター運営団体)  
公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団

## 今後の課題

・セミナー等の実施により、女性の活躍に関する意識の醸成は進みつつある。

・一方で、中小企業での意識が遅れ気味、管理職や働く女性双方の意識が不十分との意見もあった。

・引き続き、様々な層への啓発を行うとともに、中小企業での具体的な取り組みにつながる支援が必要。

## 事業の概要

### ① 経営者等の理解促進のためのトップセミナー（2回）

主な対象：経営層 目的：女性の登用の意義

実施日	連携先	テーマ	参加者（定員）	アンケート結果（一部）
7月24日	高知商工会議所	地方創生と女性の活躍（増田 寛也氏）	110（150）	「改めて環境づくりの重要さを認識」「一過性の対応ではいけない問題と感じた」
10月28日	高知学園短期大学	ダイバーシティって何？（後藤 綾子氏）	1,104（1,000）	「幹部としての心得を考えるきっかけになった」「企業は意識を高めるためにダイバーシティに積極的に取り組むべき」

### ② 女性が働きやすい職場づくりのためのミドルセミナー（3回）

主な対象：管理職層 目的：女性が働きやすい職場づくりの重要性

実施日	連携先	テーマ	参加者（定員）	アンケート結果（一部）
10月26日	高知商工会議所	女性の力を引き出す上司力向上セミナー（松下 直子氏）	67（40）	「女性自身が自分の会社で将来活躍している姿を想像できる組織にしたいと思った」
10月27日				
2月25日	高知県経営者協会	女性活躍推進とハラスメント防止（稲尾 和泉氏）	36（30）	「従業員確保が困難になる中、女子社員の中からも管理職が生まれるような、職場環境づくりに着手しなければならないと感じた」

### ③ 高知家の女性活躍応援塾（6回）

主な対象：働く女性 目的：ライフイベントと仕事の両立や、キャリアアップすることの不安払拭

実施日	連携先	テーマ	参加者（定員）	アンケート結果（一部）
9月～11月に3回	高知商工会議所	女性リーダーのためのスキル向上講座（中井 嘉樹氏）	62（60）	「皆が働きやすい職場にしたい、という思いを再認識した」「まずは自分を見つめなおし、自分を変えることを意識しようと思う」
10月～11月に3回	こうち男女共同参画社会づくり財団	ライフイベントを見据えた長期的×主体的なキャリアデザイン（倭 和代氏）	47（60）	「キャリアアップ体験者の実際の話が聞け、会社の中でいきいきと活躍する姿が浮かび希望が持てた」

### ④ 男女共同参画に先進的な企業と連携してワークライフバランスの働きかけ

企業や労働局と連携し、ワークライフバランスの推進についての啓発チラシを作成・配布